

## 循環器内科

文責：山田 寿太郎

## 概 要

平成 31 年度 4 月現在の常勤スタッフは大村昌人（循環器科長、救急部科長 山口大学 H6 卒）、山田寿太郎（冠疾患治療科長 鹿児島大学 H6 卒）、平野能文（検査科長 島根大 H6 卒）、白石宏造（高知大学 H18 卒）の 4 名です。そのほか百名英二（山口大学 S49 卒）、濱田芳夫（山口大学 S55 卒）は非常勤講師として勤務しています。

## 診 療

冠動脈インターベンション（PCI: percutaneous coronary intervention）をはじめ、カテーテルアブレーションやデバイス植え込み（ペースメーカー、植え込み型除細動器、両心室ペーシングなど）も行っています。特に PCI に関しては、平成 30 年 6 月から冠疾患治療科を開設し、冠動脈複雑病変にも積極的に治療を行っており、PCI 症例数は増加しています。また心エコー検査においては医師以外に優秀なソノグラファーが日々検査に従事しており、検査数も年間 6000 件以上行っています。循環器外来初診時にその患者様のデータをそろえられる環境です。さらには経食道 3D 心エコーによる弁膜症の画像的評価などを高性能のエコー機器を駆使して行い、心臓血管外科との合同カンファレンスを通して術式の決定や術中管理などを行っています。

## カンファレンス

毎週火曜日午前 8 時 00 分より循環器内科カンファレンスを行い、診断治療の方針を決定しています。さらには毎週水曜日午前 7 時 30 分より心臓血管外科やそのほかのコメディカルとの合同カンファレンスを行っています。興味深い症例の検討会も行うようにしています。

## 平成 31 年度診療実績

冠動脈インターベンション（PCI）総数	179
急性冠症候群に対する PCI	68
心臓カテーテルアブレーション	40
ペースメーカー（新規）	55
ペースメーカー（交換）	33
植え込み型除細動器（新規）	5
植え込み型除細動器（交換）	1
両心室ペースメーカー（新規）	4
両心室ペースメーカー（交換）	1
両心室ペーシング機能付き植え込み型除細動器（新規）	6
両心室ペーシング機能付き植え込み型除細動器（交換）	1
経胸壁心エコー	6284
経食道心エコー	75

平成 31 年 / 令和元年度の後半（令和 2 年 1 月～3 月）はコロナ禍ということもあり PCI 件数はあまり多くはありませんでしたが、それでも平成 31 年 / 令和元年度の総 PCI 数は 179 例であり平成 30 年度よりは症例数は増加していました。さらにカテーテルアブレーション総数は倍増しました。今後もさらに PCI、カテーテルアブレーションおよびデバイス植え込みなどに力を入れ、山口県西部の中核病院としてリーダーシップを発揮していきたいと考えています。